

当施設の潰瘍性大腸炎、クローン病治療におけるウステキヌマブ、リサンキズマブ、ミリキズマブ、グセルクマブの有効性および有害事象の調査

1. 研究の対象

2022年3月1日～2026年5月15日に当院でウステキヌマブ（ステラーラ®）、リサンキズマブ（スキリージ®）、ミリキズマブ（オンボー®）、グセルクマブ（トレムフィア®）により潰瘍性大腸炎またはクローン病の治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究実施許可日～2026年12月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年7月15日

本研究では過去に潰瘍性大腸炎、クローン病に対してウステキヌマブ、リサンキズマブ、ミリキズマブ、グセルクマブのいずれかにより寛解導入を行った症例を対象とし、リアルワールドデータを抽出・統計解析することで、これら四剤の有効性、有害事象を明らかにすることを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断名、罹病期間、病型、臨床的重症度、併用薬、ヘモグロビン、血清アルブミン、CRP、消化管内視鏡画像所見

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田県秋田市本道 1-1-1

電話 018-884-6104

秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座 下平 陽介（研究責任者）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久